

担うべき新たな役割を考えていこう。
古くなった役割を捨てて、

個人で解決できないマクロレベルのリスクは、行政が対処すべき。ただ、**基本は小さな政府**であるべき。**規制緩和を進め、民間に任せるところは任せ、補完的なイノベーション**が起きる仕組みをつくるのが行政の役割。(④石戸)

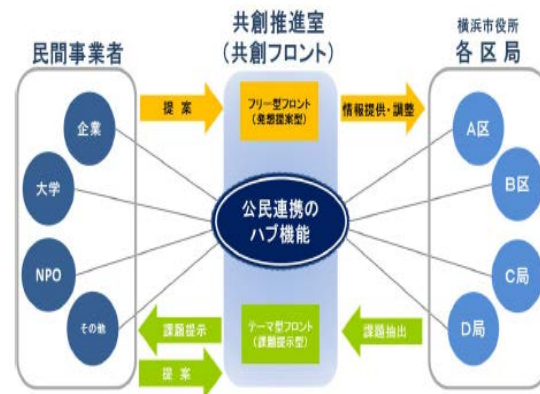
現代というのは社会問題が非常に細分化してしまっている。貧困をどうしようということだったら国が一律にどうにかできるが、**手話とか海外との人材派遣とか、そういうことは国家がやる**ことではない。(⑦古市)

横浜の「共創」は、座組みがないところに入る。役所が決めない、アウトプットがよく分からない形で突っ込む。**企業、NPO、社会起業家、自治会などと一緒に、お互いまだ見えない世界を作っていこうというのがコンセプト**。(⑦橋本G)

国レベルで「共創」はできないものか。国レベルでできるアイデアや支援できるプロジェクトを民が持っていったとき、この案件ならこの役所に話をつなぐといいとか、そういう**官と民をつなぐ、マッチング**できるサービスがあると面白い(⑦安田)

行政は全体最適の実現に努め、**民間の連携を促進**する。(⑩横田、江口)

ベストプラクティスを広げるのは行政の力。ただ何となくヒアリングしたことをコピーして終わってしまっているように思う。ノウハウを蓄積している人たちが伸ばしていくとか、広げていくことを後押しするようにしてほしい。(④米良)



横浜市「共創フロント」のイメージ
～民間からの相談・提案を受ける「窓口」
& 提案の実現化に向けた「橋渡し」
(出典: 第7回懇談会 横浜市資料)

映画コンテンツ×行政情報のPR



横浜市における具体的な「共創」の取組例
(出典: 第7回懇談会 横浜市資料)